

製品名: ULBP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86736**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,FC 1:100-1:500 |
| 分子量 | Calculated MW:28 kDa; Observed MW:40 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|-------------------------|
| 遺伝子名 | ULBP1 |
| 別名 | N2DL-1; RAET1I; NKG2DL1 |
| 遺伝子ID | 80329 |
| SwissProt ID | Q9BZM6 |
| 免疫原 | ヒトULBP1の合成ペプチド |

背景

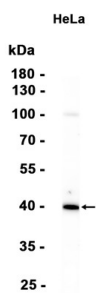
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、NK細胞およびT細胞上の免疫系活性化受容体であるナチュラルキラーグループ2メ

ンバー D (NKG2D) のリガンドです。コードされているリガンドが NKG2D に結合すると、JAK2、STAT5、ERK、PI3K キナーゼ/Akt など、複数のシグナル伝達経路が活性化されます。また、サイトメガロウイルス感染細胞では、このリガンドは UL16 糖タンパク質に結合し、免疫系の活性化を阻害します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2015 年 11 月]

研究分野

-

画像データ



ULBP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。